

調査日: 2016年12月12日、2017年1月16日、2月15日(9:00~12:00)

科名	和名	12月	1月	2月
カモ	オオハクチョウ			4
	オカヨシガモ	46	9	
	ヨシガモ	1		
	ヒドリガモ	143	203	158
	ヒドリガモ×アメリカヒドリ		2	2
	マガモ	190	775	937
	カルガモ	215	584	168
	マガモ×カルガモ	1	1	
	ハシビロガモ	3		
	オナガガモ	273	358	444
	コガモ	661	711	208
	ホシハジロ	19	30	18
	キンクロハジロ	5	1	
	スズガモ	1		
ミコアイサ	5	6	2	
カイツブリ	カイツブリ	36	60	20
	カンムリカイツブリ	79	32	24
	ハジロカイツブリ	17	2	3
ウ	カワウ	109	79	63
サギ	ゴイサギ	1		
	アオサギ	6	9	11
	ダイサギ	5	4	1
	コサギ	26	25	6
クイナ	バン	6	2	2
	オオバン	145	133	96
シギ	イソシギ	2	1	
	タシギ			1
カモメ	コリカモメ	131	189	132
	セグロカモメ	2	2	1
	ニシセグロカモメ	2	1	1
	大型カモメ類不明種	1		
タカ	ミサゴ	1		2
	トビ	2	4	1
	ハイロチュウヒ	1		
カワセミ	カワセミ	7	6	3
ハヤブサ	ハヤブサ	2	2	
カラス	ハシボソガラス	4	4	5
	ハシブトガラス			
セキレイ	ハクセキレイ	4		
	セグロセキレイ	1		
ヒタキ	ツグミ			1
スズメ	スズメ			1
家禽や外来種	コバハクチョウ	36	83	70
	アヒル		1	
	ドバト			3
合計(外来種や家禽、不明種を除く)		2154	3235	2316



ホシハジロ (12月)



ハイロチュウヒ (12月)



ダイサギとコサギ (1月)



マガモとオナガガモ (1月)



アリスイ (2月)



タシギ (2月)

あびこ鳥だより

Spring
2017
【春号】

ABIKO BIRD MUSEUM LETTER Vol.46



利用案内

- 開館時間 午前9時30分~午後4時30分
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日)、館内整理日、年末年始(12/29~1/4)

	区分	個人	団体
入館料 (当日有効)	一般	300円	240円
	高校生・大学生	200円	160円
3館共通入館料 (1か月有効)*	一般	600円	
	高校生・大学生	400円	

・入館料免除の方①70歳以上の方 ②障害者手帳等をお持ちの方(付き添い1名含む)

・中学生以下の方は入館無料

*白樺文学館、杉村楚人冠記念館との共通券

●お問い合わせ: 我孫子市鳥の博物館
〒270-1145 千葉県我孫子市高野山 234-3
☎: 04-7185-2212 FAX: 04-7185-0639



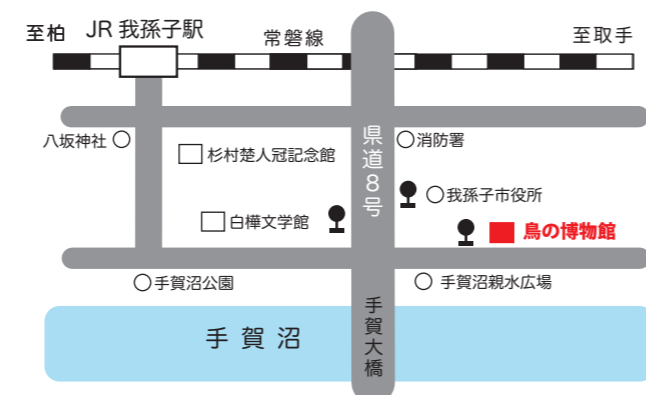
交通案内

JR 我孫子駅南口バス停より市役所経由

バスで「市役所」下車、徒歩5分

*毎週土日祝日は博物館行きのバスが運行しています

我孫子駅南口バス停より、天王台行きバスで「鳥の博物館」下車
天王台駅南口バス停より、我孫子駅行きバスで「鳥の博物館」下車
自動車利用の方は地図をご覧ください(駐車場無料/大型バス駐車可)



【特集】

鳥の声と子育ての戦略

【最新情報】

平成29年度(2017年度)の自然観察会「てがたん」のご案内

新着標本のご紹介

「鳥の声と子育ての戦略」

冬が終わり暖かい日が続くようになり、手賀沼の周辺でも鳥のさえずりがよく聞かれるようになりました。鳥は「さえずり」と「地鳴き」という複数の鳴き声を使ってコミュニケーションを取ります。これらは鳥の生活の中で重要な繁殖においても大きく関係しています。

●さえずり

鳥の声と聞いてイメージされるのはやはりさえずりではないでしょうか。さえずりはなわばりの主張やメスへのアピールのために用いられます。

「春告げ鳥」といった別名もあるウグイス(写真1)の「ホーホケキョ」というさえずりは、春から夏にかけて、オスのみが発します。オスのさえずりには大きく分けて「ホーホケキョ」とやや低い声の「ホーホホケキョ」の2種類があり、それぞれ「H型」、「L型」と呼ばれます。H型のさえずりはなわばりを宣言し、L型のさえずりは他のオスを威嚇していると考えられています。ウグイスは鳥類の中でも少数の一夫多妻という繁殖形態を持つ種で、オスは一切子育てには関わらず、なるべく多くのメスを獲得するために一日中さえずり続けます。手賀沼で初夏になると「ギョギョシ、ギョギョシ」とさえずるオオヨシキリ(写真2)も一夫多妻の繁殖形態を持ちます。



写真1：さえずるウグイス (撮影：渡辺俊文さん)



写真2：さえずるオオヨシキリ

●警戒声

鳥はさえずりだけでなく、単調な「地鳴き」を使いますが、この中でも外敵を発見した際に発せられる「警戒声」は、捕食者から、巣の中の卵やヒナを守るためなどにも使われています。鳥がたがいの位置を知るために用いられる地鳴きは、周波数の幅が広く、鳴いている個体の方向と距離が分かりやすい声ですが、それに対して警戒声は周波数の幅が狭く、発信者の位置が分かりにくい声です。

樹洞に営巣するシジュウカラは、カラスやヘビによる捕食によって子育てに失敗することもしばしばあります。最近の研究によって、シジュウカラの親鳥は巣の中のヒナに対して、捕食者の種類を伝え、状況に応じた行動を促すように声を使い分けていることが分かりました。巣立ち間近のヒナ(写真3)は、巣の入り口から襲うカラスなどの捕食者に対する「チカチカ」という警戒声を聞くと、天敵の嘴が届かないように樹洞の巣の中でうずくまります。しかし「ジャージャー」というヘビに対する警戒声を聞いた場合、ヒナは一斉に巣を出ます。ヘビに樹洞の中に侵入されると、ほとんどの場合で巣の中の卵やヒナは全て捕食されてしまいます。そのため、巣の中に残るよりも外に出た方が生き残る可能性が高いのです。また、つがい相手にも適切に捕食者を見つけることができるように声を使い分けていることが分かりました。



写真3：シジュウカラの巣立ちヒナ

鳥はつがいの形成からヒナの独立までの間に、声以外にも多様な生き残り戦略を用いています。野外の観察でも、メスへのアピールをしているオスの姿や巣材を集める様子を見ることができるとは限りません。現在開催中の「鳥の子育て—ジオラマで見る鳥の繁殖—」ではこのような繁殖行動をジオラマなどを通して紹介しています。鳥たちが子育てでどのような工夫を凝らしているのか見てみましょう。

参考：濱尾章二 1997「一夫多妻の鳥 ウグイス」 文一総合出版
江口和洋 2006「鳥の行動生態学」 京都大学学術出版会
フランク・ギル 2006「鳥類学」 新樹社

平成29年度の自然観察会「てがたん」のご案内

「てがたん」は毎月第2土曜日の午前中に開催している鳥の博物館の自然観察会です。鳥だけでなく花や昆虫など、季節に合わせたテーマを決めて、身近な自然を楽しんでいます。散歩感覚で参加できる観察会です。ぜひ、ご参加ください。



平成29年度のてがたんのテーマ一覧

実施日	テーマ
4月8日	今だけ！春限定の自然観察
5月13日	鳥の子育て
6月10日	生きもののカタチとデザイン
7月8日	歩道で生きるガッツな植物
8月12日	ヨシ原と沼のトンボ
9月9日	昔はいなかった生きものたち
10月14日	ヒヨドリのはり
11月11日	白樺派の見た我孫子の自然
12月9日	地衣散歩(ちいさんぽ)
2018年1月13日	もっと知りたいカモのこと
2月10日	シジュウカラと愉快的仲間たち
3月10日	冬芽と樹皮

*詳細は下記のイベント情報をご覧ください

新着標本のご紹介

最近収集した標本の中から、新しい標本や興味深い標本について紹介します。平成28年度は、国立科学博物館動物研究部からのご紹介で、スウェーデンの研究者と標本の交換を行い、ヨーロッパ産のノハラツグミ、キアオジなど13点の標本を入手しました。これらは仮剥製の形で到着したので、展示用の標本に順次作り替えを行う予定です。

平成29年3月現在、鳥の博物館で収蔵している日本産鳥類の剥製標本の種数は381種になりました。今後もコレクションの充実を図っていきます。



ノハラツグミ(上)とキアオジ(下)の仮剥製標本。どちらも日本にはまれにしか渡来しないので、国内での収集活動のみでは入手が難しい種です。

イベント情報

- 講演・室内イベント
- テーマトーク
 - 日時：毎月第2土曜日 13:30~14:00
 - 場所：博物館多目的ホール
 - 定員：先着50人(参加無料)
 - 講師：山階鳥類研究所所員
- 飛べ！鳥の紙ひこうき
 - 日時：5月4日(木・祝) 13:30~15:30
 - 場所：鳥の博物館多目的ホール
 - 対象：小学生以上の方(小学3年生以下は要保護者同伴)
 - 定員：先着20名(要電話予約)
 - 申込み：我孫子市鳥の博物館 04-7185-2212
 - *4月16日より電話申込み受付開始
- 鳥風教室
 - 日時：5月5日(金・祝) 13:30~15:30
 - 場所：鳥の博物館多目的ホール
 - 対象：小学生以上の方(小学3年生以下は要保護者同伴)
 - 定員：先着15組(要電話予約)
 - 申込み：我孫子市鳥の博物館 04-7185-2212
 - *4月16日より電話申込み開始

- 自然観察会
 - てがたん～自然観察会～
 - 2017年4月～6月
 - 時間：10:00~12:00(雨天中止)
 - 定員：なし
 - 集合場所：博物館入口(予約不要)
 - バードウィーク手賀沼探鳥会 in Enjoy 手賀沼 2017
 - 日時：5/14(日) 9:00~12:00
 - 観察場所：手賀沼遊歩道
 - 定員：100名(小学校低学年以下は要保護者同伴)
 - 申込み：水の館玄関前のテントブースで8:30から受付開始
 - *当日は鳥の博物館入館無料
 - あびこ自然観察隊①「河原の鳥を観察しよう」
 - 日時：6/18(日) 9:00~12:00
 - 観察場所：利根川ゆうゆう公園
 - 対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で参加可)
 - 定員：30名
 - 申込み：我孫子市鳥の博物館 04-7185-2212
 - *6月1日より電話申し込み開始
- 自然観察会は高校生以上の方は保険料100円がかかります
館内で行うイベントは参加無料でも入館料が必要です